

平成29年度 前期終業式 式辞

平成29年10月6日（金）

平成29年度の前期が今日で終了します。まずは、全校生徒58名が、前期終了日という節目の日を無事迎えられたことに感謝します。

4月から今日までの前期にかけて、様々な行事がありました。修学旅行や学習旅行、職場体験や都路志塾、生徒会総会や生徒会役員選挙、陸上・駅伝・水泳・総合の各中体連大会や新人総合大会、中学校音楽祭、中学校英語弁論大会や少年の主張大会、英語検定や漢字検定、灯まつりでの全校ダンス、長崎派遣、ブリティッシュヒルズ英語研修・・・。主な行事の様子は写真として記録し、校長室前の壁に掲示してあるので、ぜひ見てください。

机の上での勉強も大切ですが、様々な体験を通じて皆さんが学んだことも、それに勝るとも劣らないかけがえのない財産です。前期は部活動などにおいて良い成績を収めました。結果以上にチャレンジすることから逃げない都路中生をこれからも目指してください。

さて、前期の学習面での皆さんの取り組みはどうでしたか。保護者や生徒の皆さんに学校評価のアンケート調査をした結果、評価が低かった項目が、学習や3点固定に関するものでした。「授業の内容がわかり、学習内容を理解している」、「家庭学習の習慣が身に付いている」、「3点固定に取り組んでいる」と都路中の生徒がもっと自信をもって言うようになるためにはどうすればいいのでしょうか。

現在、先生方も、授業をもっと楽しく、分かりやすく、力がつくものにするために研修をしています。生徒の皆さんからは、授業評価アンケートも取りました。完璧な授業というゴールは無いのかもしれませんが、「授業は学校の看板商品である」を合い言葉に、先生方は質の良い授業を皆さんに提供できるようにチャレンジしています。

それでは、生徒の皆さんは、先生が学力を上げてくれるのをただ待ってればいいのでしょうか。朝の時間、スパイラルタイム、放課後の学習会、家庭学習課題を工夫して準備するのは勿論先生の仕事ですが、主役は君たち生徒です。学習の主役である君たちの姿には、少し物足りなさを感じることがあります。

都路中学校は学びの場です。生徒である君たちは自分に足りないものがあるから、学校に来て学ぶのです。都路中生は、学ぶ者としての謙虚さを見失ってははいけません。学ぶことに謙虚な都路中生に、学校は多様な学ぶ機会（チャンス）を提供することを約束します。

都中生の本気、粘り、執念、そして主体性を学習面でも見てみたい。都中生がどこまで学びにチャレンジし、背伸びをしたりジャンプしたりして学ぶことができるのかを試したい。私はあきらめません。

皆さん一人一人が、前期の自分自身の成長と課題を振り返る時間をつくることを期待して、式辞といたします。